平漢戰線北城にて

藤井特派員手記

れを敷退した實況で、○○部隊長は從軍の記者に對し『この狀況をありのまゝ傳へてこれは抱陽山(保定面方六里)蹴において○○部隊本部が敗殘の敵の急襲を受け激戦こ

喇叭が響く、とたんに、タン、タン、タンのからタター、タター、田舎の馬車の笛の

れ」と特に依頼した

リマス、私咨鐘機ジテ立張ナ帰イ開民トナ 私此へ心ヲ合セテ天島陛下ニ忠義ヲ竭シ私此へ心ヲ合セテ天島陛下ニ忠義ヲ竭シ 皇國臣民ノ誓詞

二、我等意機臣民へ軍ニ信養以力シ以テ開結

土海六日同盟] 午前九時我 州北 商務印書館 附近を爆撃

附近の節 呼地爆戦を並行中であ

部隊果敢な奮戦

激戦四時間で撃退

**カの支車が由続をつづけざまにドカーン、ドカーン酸物地に駆ち込取をもたげると然も集中加撃を吸つて平のつけょうもない、抗構後** は真邪胃通辨師、邪隊社の副馬はさらに関節部質通性折で倒れ

山頂を逃げる敵異ないのである。

成力である、萬成西方二里、保定西方六里のちにも胸のすくやうな飛行機の活躍、砲撃の手山から射撃を受けたのであらう、忽ち低空飛行して地上射撃を行つてゐる、緊張したう飛た。一回二回上空を 旋回してゐ たが、双 本くゆらしてゐると―萬歳――友軍 機が飛ん 疲れた兵士が彈 つてちょうりで

一部陣地の傷の民家から深々と自境をあげて火災が起つた 再分属陸地を左右に見ながら再び目的拠北五日に向った。夕時 **かわれらが追除であつた。酸腫地には我追除の「部を残し、我軍はらホッとした余はやつと 助かつたなと思つた。質に参議に 騒され** 館は地を占領。更に左方の酸原地をも掃蕩した、四時間輪の膨散が が申請しる。五時半山から山へ麓を撃退。一兵も据つかず我軍は

體約百を選乗してバラ~~山頂めがけて敗走。飛行機の恐怖から敵はやうやく射撃を止め死・機制態の激戦は二時間に及んだ、我砲撃と るやうな繁備の勇壯さ、暗黙となり ちて鉄線は全く止んだが、遠間のやらに極撃が開えて来る。 米粒一つはをろ

通りその路路も日建の間に近く 概の京軍は既に軍軍、五名並に 辭

九〇五年に問題した。 一九一

大にこの、平黒郷の出記

後方双子山も既に我○○他が陣地を占領した。進げる敵を追つて機關銃の雨を洛びせかける部隊は見よ敵蟬地に日章族を融へし勇猛にも容はじめた。左右兩翼から進んだ少兵の突撃

リ込み現身機闘銃を占領に向った一

太平洋質議

も無極したものである 詩訓する餘路なきとの理由で何れ

悪となつた山岳
○○部隊の血の

赴戦湖へ 總督

【咸南松興にて大津特 が帯を腕続して既信里にを連れて出版。途中決的 を連れて出版。途中決的 鑑の第一夜を隠した。 要近き高原の技術的

職力分育。直ちに乗船して既 代動車で年後二時五十万 計画の展記器にたつて 「リ少郎の根もなく」行 が船が場に上院同計五分 北大戦争も終つて午後公 を一部におさめ呼びを 動車とケーブルカー

地支黄

東仁防空天前智・一糸流れぬ に目出度く完了

に整盤し女に護師、京仁銭後の際 配置平素の組織へ、見用

上海の限局いよく進展

が日本の軍事行動を京記 間や岩の下をくいるやら での土油吸仕谷間の水が

◆背言 連日敗北のた

- 日 職死半数に選し述

〇九月十五日 近来哲人は 他所く為は十つの場合に駆けり朝に至り始め と書いてあり変形長が急に駆けり朝に至り始め と書いてあり変形長が急に駆けるがあればりないるの数を行う決めである。

の戦を行ふ決心である
住頭く今後十元の質異を與へら

**冗月三日** 

恐怖の極、營長發狂

達し精神 に異訳を来

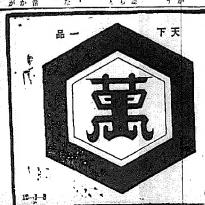
の九万十七日 我軍兵 力四

同人のボケット内にあつた手指に

連日に豇り敷修工事

進言せんと 欲するも識なさを覺え 師長に

下天



印の本日敵無は丸の日

社會式樣抽餐田野 護用御賓內宮

印の本日康健はンマーコッキ

漢線 ご正太鐵路

あ 明んだ。梅腔山脈にところく気欲との 観絵を助映。磁性地点欲の為ばたとに確の脚。磁性地点欲の為ばたの の如く解験・ついいて友重の楽里 の犠牲者

市長と馬の勇武を継べ 田の戦闘における我軍

一步兵 一等兵 山下夜花明五三字醛一回四人语失响山) 电振行以三字形体 国内人名英格里 医克里克斯林 医二酰光二甲基二苯基苯

【爪傷】騎兵森本上恭

1

ガ土三宅市地暦長は山田に頭頭にサ三日相隔山の戦闘で農田部隊の 抵抗してゐる教育名の蘇映地に難

スイス、カナダ網関代表は政治に 原則に<table-cell>成し難言騒ありとしまた際してボーランド代表は決議業の 貝會採擇

後部に少兵を隨へた約八百名である、步武堂燮な豫威がした、部隊は先頭に少兵、次に騎兵

「協山の機関を後に羅河井の郎塔の坂を一是平地に踏み出した。 进

がら畑にパッと身を伏せた

銃弾が頭上を身邊を雨の

軽機はパンパン、つづけざまに敵陣地に集、 敵弾は全く止む暇もない集中射撃だ、牧軍と り、後方警戒を嚴にせよ」命令が次々に来 り、後方警戒を嚴にせよ」命令が次々に来 のが除約八百、輕機二銃、後方に機關砲も

敵の弾で死ぬのも無念だ、屆かぬ迄もと拳で負金減を費悟しなければならぬ、むざし

余らは遂に敵の

既設陣地の電園に

の弾をカチリと装塡した。

てゐた部隊屬託の松間寫眞班員が敵弾に驚い

射撃する、『敵の罪が何だ』身をすくめて走つ

をほとばしらし「アッ」と叫んで倒れた、

「軍馬の蹄にかけられて前額部にサッと血沙

直線に即り取られた数なは鏡つてある地の中をはるか彼方の高 へつづいてゐる。左に抱胸山とその垂前に双手山、(假稱)前

から右にかけて三百米から三百五十米の山が屹立してゐる

萬一この高地に 数の陣地があつた

高さ一米はかりの敵魔に面した土手に身盤もたせて「いより

の銃撃にも驚かず氣持ちよさそうに眠つてコしまつた事をしたと思つた、余は傍らで彼我 きこえる、朝捨てたばかりの敵の鐵帽を全生班は居ないか一丁歌踏は居ないか一丁歌踏は居ないか一丁歌踏は居ないか」

つて頭にのせ〇〇の傍に走りよつ

から照出を譲め計つて置いたのであらう。十字種火を給びせて來る 関かめかる。しまつた。思はず憧憬のやもになった道路に身を飾ら

して飛び込みざま身を伏せた、敵は右翼の二百五十米の山の八合目

日を徒步で歩んでゐた、突如、ババーン、妙な者は中程の黒川〇〇長、騎兵少尉)の前方二人

と肌りつける残暑を浴びて進んでゆく、記

間の對日ボーコット運動は一時相「支援に整金整製運動に轉換したが「使命、陸海電武官、財務官、主要

民間運動も翌日ボイコットより財」で定席工作に入るべしとなし、大一なつた。日本商業機能會でもイギ

情報委員會を組織して活動

【ロノドン丘日周版】イギリス民 [

當器化したが最近では興論も成分 右は必ずしも對日感情の緩和を取

味せず支那の紅眼が荒唐無程な事

も次第に判明して来たが在留邦人

の視官で各種具體集の決定を見る 銀行、商利、開盟ロンドン支局等

をもつて情報委員會を組織。五日

、は無効だと説き始めた。は大便館のみに要せずこの厭趣ん。活潑なる針與論工作に入ることも

だ向った

ーと敗戦を物語る

福に出れば一直千里

観なんで東是の存在から 突つ張つてゐる。 これら

一洋食識の問題け不可能とな を機略内と認定すれてい 主英國代表の旨は正論

されるのだがね

デ、世界平和のために活か が、世界平和のために活か の正論を英国の為にのみ活

本日夕刊四頁

総が沿行文券校を占領した原列 | 一個質の所が出き調べると思すかった。 | 院長より選長後の手続が殺見された部分の関係を引いました。

北支羊頭溝の名譽の戰死者

尚本善太步兵少尉

これこそ飲へに酸へた京中魂の精料として揺まりない歌歌と弾か上にも恐揚する愛観の辛酸とを喚び起し、丁挺この六日の 以文大路("5)である。この暦先輩が北交中支の陸に空に即かした武蔵は江河校長以下全職員。一千の京中俄見を初め全町 型の動き教行し。その得意の幻想なヘル・ダイヴィング(急锋下爆撃)で敵の電燈磨を爆撃した際、不崇敬高別戦の直出の重要を受けた。 にもその情別弾となつて電燈機目がけて自爆し減星のぞうに敵首都の容に消えたがわが空軍の花形。第十四回卒業の 地田東三郎氏夫妻からわか日間被に建せられてゐたのでこの九月んでありさらに愛閣権職途のため一萬国を戦命した中共無義計長を町立丁目坂本奉之氏力から孤學してゐたが、その系の大家さ

|百七十九人に對し約五割三分極の 引揚を見た調である 口から南大門まで

ち披かれた民家に壁の穴を保つて一ついた、敵の右烈第一級との間値

銃撃が間近に撃く、午前九時二十

絶理が飛び手榴弾が炸型する五日

電車を中央に 交通緩和のため着手

在鮮支那人の

重は 一層危険を唱して来たので、 通行の配車のために設置する交通 門署と西大門歌覧局官含入口まで

報義以來在鮮支那人の引揚狀 既に五割三分

リ、十月一日現在までの引揚継載

人規模に<br />
擧行する

の實験を調査中であつたが、今日

政をたずことしなった

民精神總動員は

では全く引援も経過を告げるに至一府工要部と京姫が設議の上竜車線

書の空襲と同

**4をも動く批判だ語である。追戦。と云ふ民気に旋の死骸が絞骶し撚。ある、賦上から厥横舞岐が火を症。総の在所を梁せ』と揚載尾傾長か[上擬五日問題]是は又獄騭三海 | 前進した、数日来の市標誠に民家、かに十四米の間近で秘防な呼地で、兵は桧脈上に聴まつてある [#精]** 自ら地雷火を踏み 敵を微塵に粉碎 爆弾三勇士をも凌ぐ **介月一等水兵の戰死詳報** 

獄少尉として衝職甲訟に去月十六日戦頭得の艦載で非細なら戦化勇権部誌に上つたものであるが北支戦戦争一線に起いて韓朝、勇

とは映秋 美海書最 。の番大 鷹魂組の

●指間水虫→股間いんさん

颜 平 足

Ø

中土

病院

院隨意

上一方 一点

フンドー

あるところ

場造釀油醬杉高

4 聲

價

川

高

タ カ

Ø

仁

など愛シりが生曲しることあ版所有いう好ドと演ん家さ然は並る作で名でおける。 っけ家シ云素だとがしいび。

纹

友親貞

人成廣

敬

今晩のラヂオ 滑夜/君の机造に

れてある。被理我面親でから合か、る三名の「保険はこの機構経験地の」してある大月「尊水具はあつと職は飛び亡った血沙には赤に色彩台」いてある、掲載一等走費を長く子「騙く、射ち抜かれた機を保づて壊れていま た三名は形骸を跳して近づくと脳一瞬地がこゝにあるのだ」と直感し

時局を鼓吹する 紙芝居が着いた

一百十八郡に配

三貞波 各

家家家 ン厳

(朝 邱 亚亚加加及) (金組聯合會支出長) (連 邊 聚 縣 場)

漢汀池

家 = 非

ヤ御

ħ

ンバニ

京城の燈火管制は落第 り、本日の如き駅沿にありては飛り掛し得べし 飛行機から見た鈴木大尉の報告

牛を賣つた歸途

尿畿道では

七十點を採點

何者にか殺さる

も開宅せぬので、長男術文柄と橋 出北清州郡南一面十三里春泉柳水 | 人本光文の兩名 が辿ひに行き 闘州──賣上金も强奪

南(下の風温度) 同じ 南東の風北同じ

**射鮮人の 覺悟** 本府が五十萬部を印刷し

本府では事態変生以来時局の正し|部、北支、上海、武災、機太等朝 超風中三十一名は行方不明となり 取中の邦船七隻配置又は座庫し東 【西雄電話】決る四日夜プラタス **邦船七隻頭覆** プラタス 島附近 仁川の潮時(7月)

河 梵 五十钱 大の興奮と感激を盛った。 コトガデキヌプロ SOULS AT SEA 高大巨作大超の本一年ートンウマラハ。 品作督监 イエウサハ・イリンへ 匠 巨 東日・大毎連載 住伯秀男 神田千鶴子(助演神田千鶴子)助演 山本嘉次郎 寛 震













例年の作興週間をこれに當て 月七日から

ある。倘は国民精神作典烈用中は 皇軍武進長久が収祭を行ふはずで 國民精神機動員の各行事を加へる。こなった

武裝街頭行進

官民合同の國政官構武測長久部 の例差に含るので大型なを呈する。ものと無知される 戊申詔書御渙發

神嘗祭當日の 盛觀

聖旨奉戴式 十三日全鮮の諸行事

來る十三日。民中福港を國民に勝一載すべき秋なので本府藝術局で

でをリ、京東は竹も別野野宮「国家非常時局に照査」「熟旨を本「祭を執行し合事後では象徴式を撃迫を行び無数を駆けることに」はつか記述すべき目に称り、株に「全郎各創動に放こ」と言う書きる。

るところがあった。 五日夜の防空

時半から京城府内の各種祭客長を

日本精神を昻揚

するとになった。同大會は現、日本物師のソンボルである頃、周是の式辞、大野政都職職の祭の第二限民の意気高く開催。正午から行はれる入場式には、同一を全員即職し、職員事が するとと、なり、来る十五日 局が観光した『夏國臣民の

日夜八時三十分ごろ都戒管師に「貝が行動不能な男二人を取買べよ」

玩具の拳銃を持つ男

が所によっては【ではなかった

ac認識 周知徹底のため各種小册子

鮮人の 住むあらゆる 地域に配布

その他各官公署で幾行してゐる難しすることしなり五日からその發展

朝鮮神宮水松原技大会は半島。ぎを婚して駿州和市禅に襲行。を一分間行ひ。更に今回學と

種動員、武装に身を固めて街

-五日に入場式

『皇國臣民の誓詞』を朗誦

技競宮神

影

のご用か何ひたいものですが、 『不頼ですが、私も用の多い體で|すは榛果三岩衛門、又、それに居 これにて転せなら話されでもな 何分、往來では 今夜といはずここで、何

大層大事をお取りになりますが 「左様でございますか」

他とういふ事でございます。 一 一件は、別様では、Arunは、関定村 りますは目月田逸雅、お見知りを の旗徒忠矢郎の僕で」 「今夕、我々三人が推議したる要 と感謝します

と、い・哲学大の限が、質のや「織いのを開想にも打明けられず、 田ずペタつかず「融を紙にたら」 よびみで下り物がしたり下観が、がグソく「内部へ登み込んで流れば、とい・音楽を記したら くてもとくなりましたのです。ナ ソ球は私にとつて本當に黏蛇の守 ませんので・御楽を送つて頂かな 先日は御親切に御訊ね下さいまし つかり下り物も毎月の痛みもあり て有職ら御座います。今はもらす ましたのを、数つて頂いたワセト

ン球を使用されてのます。 名孫院の人科で評判のよいワセト

ワセトン球は入れて八分ですつ 秋口の一度は冬の三度の郊日 鹿では吸収ない、ではどうしたら

と研究を重ねて申分ない局所重か なのもいけません。と云つて内服 んだ物にある事で、適か難り不快 き出しの整や漫画を申録に一寸包

「話の爻弟によつてはそこ計に掛 一でいまの子女で、パルカマキー 「子分だつたらどうなさいます」 「それにつき俯ひたいは、忠実郎 られずに、もとにもまして美しく の織しい神度リでよく利ります。 外島女にも使べる障害で隣にも知 治験があまで用来のは。上記能験 小島女にもいる(一苦心して調べた材)の今間に知らず、(一道んだ歌門のした。 いる(一苦心して調べた材)の今間に知らず、(一道んだ歌門の 「仮色が土色になつて根に概さへ出」はのも進んだ登明の象徴で、特殊 丈夫になり結婚する私は一番希臘 來た時は本宮に自殺し度(思ひま の御精集も五年前と違つて、 私口の手當を で、模芯から病養網熱をとる消炎

指標をいたする

併三郎の供をしてゐた土壤場の

五ひ配いて行つてしまつた。

「拙密の母名は大機群平次の今夕

忠次のことでね、へええ?」

りに光つてゐる、嘘ではないらし

の忠夫が既について、内々の

誤ると恐ろしい

「さらした方が面倒臭くねる。 容 『担つかいて行つこといくらか機

「子分でごさるか」

の終た長い、豊かテヤソと強へてみるから、眼者も安かである。サラや療を美むる。季節を難して無縁よく使へて効目の強いワモトン戦 ( )した感じで気持かよく効力も早いし、第一悪債 と老け、本地になっても取返しのつかの題でつれるから、今成倒の私口の婦人稲の手當は六を敷く面倒なだけになると貼く腹が扱へ

器第二木村 仁

他の新生理事・歌のは本質の キに『何日分差と』と書いてお出 店(根脊嵬草三五〇一九)へハガ

萬一品切なら糖代理所東京は芝匠 皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晋













出したワセトン駅の記事、これを一り治すに限ります

人知れずサッパ

から信た婦人雑誌を聞いた機に見

使ってお

からすつ







内々にてお断かいたしたいのでご 題るが、今夜にも島村へ推選いた

失りばり、小づかひ録が欲しい

伊三郎は呑みとんで、

もでは一少ご用を何ひませち 『大機辞平次さんと何有いました

元に勝る美しさ

としで何つてはいけませんか」

教授了

に働いてゐます私は時々之れが私殺人的暑さにもヤケズ銀日丈夫

家庭もワセトン球の郊力と思へは

(前略) ホット息つて今の明明な

安い藥價で治る

勿贈ない程の

つたのさへ有難いのに、背よりず あれ程の重い個人指かすつかり治

ら半月たムロにげつそり数く極の音薬も御座いません。夫の淋滅か

旅みと下り物に苦しめられ、劉々

ばかりの身を味にもてあまして ね治療でした。 去年の更は常と皮

親持。ワセトン球でなくては出来

教者へ十里の田舎で牧用の見込み

もないので腹性や喉を便よりに内

人様に云はれて幸福一杯の今の

ラくと頭痛不眠で身體中が誰で

は見せず、貯金はへるのに願り唱し見せず、貯金はへるのに願り唱

治療には一番良い

なく、夫がより附かぬ家はジメジ 仰れてめる機……泣け恐れて仕方

よくなるのと不思議に一處でした 違びが止まるのと私の種の題子が メの谷底でした……ぶつつリ夫の

るで生れ強った御殿を心から厚

結婚の守護神

無く汚し爛れて赤面するのはむ

一種分、永~お手間はとらせい。

無に入りの鬼のよン公が、頻宜な

併三郎は慇懃に捻拶をして、

入ひつてきた併三郎のあとからな 群平大などが坐つてゐる。そと

だから十もとけ汚ないの

帝大病院の方法で治りました

ふへて右脚が引きつって

武士といる院報には一先づ頭を下

るのふうな さうかいのでは 「どうした浪人は。何?あんで

外などまるで見えない座敷に、

つかひ縄の無心かと、思ひながら

さら云ひつけて置いて、底町 あげる。ご治として一分づつ

歌らしくない浮浪人が。又っ

職だが最村の伊三郎親分かり

の勝りに動形に寄り、そこから場

一人・ 背の高い浪人が、旅の照

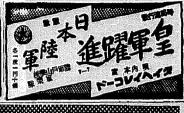
「さらか来たか、何た三人になっ (した樹敷で、伊三郎は晩酌をや 動村の伊三郎が前横へ出て、そ

大雨の前(こ)

い二人が連れたつてゐる。 岩田專太郎廳

利機川に盛んで、中を一所も

長谷川



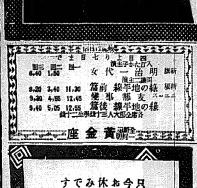
學藥合河 骨や歯や血液の発養素有機は・カルシ るビタミンAとD(ピタミン含有度數 を正確に含有せり。 十倍の特許肝油)・ビタミンB(酵母)・

通一回量)以上に相當す。 APTでは、普通薬用肝油の五瓦(普ミツワ肝油ドロツブスー颗のビタミン ▽近頃ビタミン單位を指しく誇張 せるものあり、御注意を乞ふ



乳化完全意 小野の中に、魅力をやし抵抗力を強め 且設も服用し易きこの 結核・感骨を防ぐミツワ肝油ドロツプス!

油劑よりも遥に効果が多いのは當然である。用を起す爲に、効力が一層強く大きく發現するので、單なる **栄養劑は偏食と同様に片寄る恐れがあるが、各種のビタミ物を何でも食べる子は病氣に罹りにくい。從つて成分の関係に、食物の種類の少ない偏食の子は病氣に弱いが、種々な** 各種の榮養素を學理的に綜合してあるミッワ肝油ドロッ 體力を強化し、抵抗力を増大し 一本の矢ではすぐ折れるが敷本の矢を束にすれば强い 栄養が片寄らないのみならず、それ等の各条養素が共 る同プン純の 肝作スとな食病

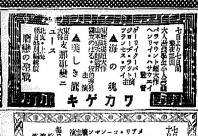


表發ロブ週次日近

國座日朝



モツワ石蔵本舗 ◎丸見屋商店・









る。マネキガケ村2:00g り上日四月十 出版的 門三 別二 川一 7,00 3,00 11,30 スーユニ・日京夏渡 7,18 3,18 11,60 人 失 雀 孔 9,00 5,00 1,30 算スーユニ日朝・日京 9,16 5,18 1,46 膜 森 の マ マ ് കെ വാട്ടില് വാഹം

का का

神田伯治演 肺井耕造商

**約買付見送** 

| 米で直倒みから二十日要 | 松春の主人かっくいふ物で、お 歌によらりら年にいたしました。 「おりの 非文 も相常 宜い」 「おりの ままり をおいる 「大きな 中国の 異性が 動みに もつてそんなに必要となくつでも 化男といいのべる 「こ、原明で 近れのからの 独立 を しゅん にいました。 ひはおえよ、何は無違か能つたか。 長二七の代の世界の名句を作べて期一十年経さん、会なんでは別女(うっきいます)もしば、フまげいてはりままも思

の間のに非動き、現場高清三浦の

原位を唱べてあるら構しは、北顧を呼びまして話をすると、んご、歌手を直像にする他共帰ら 類の如きは「未渡しが」」。これでは、こ前の申しますに、こて、次の前で手を打って戦かな動物に安くなる模様で、長「さて元極。こ前の申しますに、こて、次の前で手を打って戦かな動物に安くなる模様で、長いて一 ますが、どうか明日中にお弁受を、蜂ば似は使うなくれる。目外の明光組もは心ですから結構でござい。ヤアニテいません。そんな無駄な つて聞つく参りました。

一い、花園できられて動者が開始

正米市況(四月)

|類ひたいといぶんです。俺り単独||いたお金なら何萬何子使しても。

(8)

動「ハア位うございますとる。共 でございますが」

すが、明禄日来て六百南で身燮を一つてお臭んなせえ、日が妻だとかだ北魁には碌々話かしてないんで「久次郎といふ此の話さんの所へほ 上州出帯右衛門といふお方が、ま「附いて、京橋五郎兵帝町の棟段配及「上川底橋の総商人の旦那で、「明日は宋領の前物で女中の一人も すると云ふ事に格つたさりでごさ | 事機だとかするのなら、現も何。

近期さんという人は関い人だ。 北 んなさいました。 委領派知いた 長「それで三浦屋さんが賃方のお」はもほごでせり、イヤどうも選手 断を開きまして、江戸の併費が棚一た道でじみなお話を形りしてお果 長一アト色気を放れたお野、三根 版でいないます!

拗「ウム」

ます

アニュー・ファミーとしてた成が、安全した」 た人を添まに持つて戦づて、日本、「かく」。 の家をおてい師しただ。それに関
《「ウム版をよつて始る様にしよ 他さんを指して確くんだから。どう」。 っしても質力のガヘル受をして低 総五郎久大郎も大門を田ました

れて居る所を、斯らいふ排になる の著太、榕鉄を儲へて、第の元解居ります。それにあの北庭か今寶 州から來て居る客人の弟で、大門 それでお高いもんでございませり一の家へ成って来て、お内閣さんに すまでに、仲の町へ被製簾をいた。んぱら膨、若葉の書、単安の藤兵 が元金は五十国でございますが、一此の話をして置きました。 しましたり私事出端人牧も掛つて一術、大麻佐四郎、花屋金具衛、居 韓佐屋久次郎は己れの五郎兵衛町 さて併政船が五郎の宅では、さ

それにその突出しに花動を出しま

さたいと思ふと断りいひました。

お償む申したいといふがでござい、郷か造って来た。

併費が制五郎は大戦ひた、どうかだとて並なられえ銭を使ふのは、 一ピクともいたしません。一文の語



**神治は六日左の如く関祖部長線を探求、我が管理政府の方針を中外には明したので、我が外衛治は利望行に関する演説を行つたが、その論臣は東遠の現職にも言及してあるので、我が外衛治は東遠所)アメリカ大統領ルーズヴェルト氏は五日ソカゴにおいて国際軍用の影響をに現行** 

世界に人類のため異へら

を拒んだ故に今日の事變が起っ

並に地中海「海域」の水を問題か

の名を場げなかったか。日支市規

とは随る出目されてゐる。大統領 で別つて「侵略順」を論難した

北支戰況

提りの事である。大精鎖は特に国の席上で演説したのは異に敷を月

の協力を要請した。大統領か公別数局の危機を指摘し平和運好防国

水を煎に一場の演覧を行ひ、園ID

陸兵桑港出發 米の海外派遣

ソフランシスコ五日同盟】ア

保定上空に於て

空中戦を展開

見事敵一機を撃墜

ル大統領演説

現在世界の各所に條約の侵犯並

る例にはその地上加例なる。これにして動

しか。るに要性なる馬頭で

日本は支那に平和的

携を求めてゐる

我方針を中外に宣明

が海軍の新競費の種は総鉛をつ、姚敏の蘇肼を治びて故障を生じ至「殿説は左の如くである」が海軍の再盟とは、日年後零辞中「した離刑行権の内」権は、我があ「る諸債兼によると上海治内の「緩」

上空に飛来我が戦権を襲撃せんと近によれば五日午後七時過ぎ上海

【東京電話】六日海軍省に到石せ

上海市內狀況

【上海六日所盟】中央証信社の報

たものと見られる

投煙せしめその開発情報上空に 行場にあった配点場後一概を選

更に強湖飛行場

■海軍航空隊○○|榕納組その他重要施設を特殊艦に 多大の提供を興へた

上海五日同盟」五日午後の間北

上施設に徹底的抵標を異へた 居作館の海東機〇機は六日午前十

開以東の修理された範路に再度振る身連級の大歩襲を取行した。超

一時三十分無衙飛行場を堪覧、地

【上海六日同盟】 白相、南海兩大

治軍の首都地震を囲ひ。極力列展の同情を

の智用ある陶琴店、百貨店 食料品店で作様の御用約を お得ちして取ります。

# 烈なる空中戦を展開

に敵の七機と壯烈な罕中職を演じ、その全部を整墜、我れには何等の損傷もなく悠々騰遠した **牧場飛行場に徹底的爆撃を加く、地上待機中のカーチスポーク三機、ボーイング機二機を爆破、更に雁戰し來つ** 上海六日同盟】六日午後四時中野少佐、池田少尉指揮の海軍航空隊○機は再び雨雲を衝いて南京上空に飛び、大

島、加藤、熊虎各一等航空兵の〇〇機〇機は果敢にこれに願敬、壯烈無比なる空中戰を演じ、古賀機は二機、熊場飛行場に徹底的爆繫を加へて暗遠せんとするや、敵の上機が舞ひあがり挑取し來たつたので古賀一等兵曹、中軍上行打軍「巨元口」 「何次書問題」六日の南墨號電源と身の住途の如代後、熊のと後と独別な学中軍を消し、そのメーニー!

七二五)蘇州河以西凡そ一・〇蘇州河以東四、〇六一(内地人

午前の南京空襲 敵三機擊墜、七機爆破

蔣介石の

負け惜み

内にあり)合計孔そ五、〇六一〇〇

我方には損害なし

上視五日回盟】午後十時第三艦|いて大學安康飛行場の課題を放行

[哲態六日问題] 我生軍のため婦 一次の道の修復に支那る路管局は必要を表すれた支那軍の軍用教経患 路に多大の扱訊を興へて暗型し

現れ再度埃摩をなし、軍用総道和 六時我が海軍機の機は突如樂昌に 死の努力をなしつ」あるが五日顔

かすめて北上し、麓の軍用党場た海軍権〇〇合は廣東西方の上空を 【香港六日同盟】全朝八時半夜が一一、 敵の軍用幹線 **粤漢線を大爆撃** 

股の交通を禁じてある (単十章大) 「四条を製はんとするもの 4、 ・ 放食的などはや前へ等より 「二十九軍を配験、及び第三十八騎 で、飲食的などはや前へ等より 「二十九軍を配験、及び第三十八騎 で、飲食的などはや前へ等より 「四級異は他とりもなく可致の駆 した沢を呈してみる。 (単一章大) 「四級異などはんとするもの (単一章大) り観々退却中であるが、徳州南方 する敵の部隊は運河及び配道によ

【天津六日同盟】津浦駅上を販売

一つあつたが遠に纏崩れとなつて四一一部は旅南に向つて逃走中である 新型に支へ切れず級外に仮走しつ た第八十一師の残敵は、我が方の 「漢州六日同盟」穰州被壁両側突、日深史全部世走し、途中退路を連 被的打職を受け四分五限となり、

こゐるが、平和の臨力に超然一ソフランシスコ出發極東に向つた メリカ陸軍心外派遣部隊持以干百 右は天代、ハワイ及び比島駐屯軍 三十二名は扇玉龍ガラント號でサ

の変代兵であるが、そのうち両名 平原以南の

【天津六日同盟】徳州の路路と共 | 宅に迫り忽ち之を攻略。西に臨場

に平原以南の池南郷は異常な版雑しせる林宅・終家宅に後返して抵放 脱穀の後大日午前七時半北宅を掲開始され後間部隊は一登夜に互る

部隊に對して五日早朝より攻略か

總督自ら音頭をごり

19年島の康業、教育脱鏡の南陸者 五日朝後川成南知事の出迎へを 鹽の誓詞唱和 威南視察の南總督

と、 - ととを聞いた機會は、観察日 | 夜五時三十分是承山正に着く、夜あることを聞いた機會は、観察日 | 夜五時三十分是承山正に着く、夜波和手として朝鮮人間に関い信息 | ある人痘の御具物味を蔵り五日午 十名の卒業生やその家族のよき相 | 長から愛電板構を聴き周陽四十里 年の永い間間校校長として奉職二 | 午長郡江第一般電所で久保田扶助にもおと見書旅の方針を守っせ二 | く帰和することになつた。五日正 及州和五老里若通學校を觀察。山一徒と部路民が校庭に乗らり元組よ **受け成果経済、それより自動車で** 新浦にて大海本社特徴員】非常一回唱和した。場長所のスローガン 學校前局では六日から毎朝職員生 け陽暫と昭和する光禁に縁蹴した である点関巨民の批判を全鮮に扇

が矢球に向ふか競技されなかった。「良愛」編店銀四南方部帯に建る動が矢球に向ふか競技されなかった。「良愛」編店銀四南方部帯に建る動き、そのもち同名。「上神前線〇〇にて六日同盟特別 部落の敵潰走

緊胁な弾地で、歴気にも驅店銃撃。である。部落は騒店域に大くこの方面での より近に より送に接折量走するに至った際

昨夜漁港新浦に着く

ここもリゼミンとなど可当は上陸、山門は血糖を浴びたやうに紅寒軍の陣容は、保定腹戦をこの一般。五度の登録をインクラインで下 を「これはうまい」とたべた ため南護督は既に北鉾巡測に向い非常時下の牛島・特後の情況観察 後六時ごろ自動車で暗娘するこ 大野政務總監 けさ開城へ 決議案を採擇

かけ英融製工、商製工、孫延仲軍 にてもり返さんと確定河南世に洛

我が平原財府下部院を機能せん

敵の防禦陣

定方面の敵に向つて攻撃 四、透川部隊は本日午弘藩のクリークを占領し の敵を西方に歐迫中の敵を地方に歐迫中の敵を地を奪取

会び替立信軍の二十ヶ師が水も独



伴浦線上を敗走の敵 平原に抵抗陣を構築

甲是ら脱煙兵は全く脱棄なく混画「船局な抵抗陣を構築して居り、そ一へ退いてある

徳州の殘敵潰走

を呈してゐる。即ち医療緩絡治療」小鶏、腹塊を一切用ひず高射破敗

に飛來直ちに逃走

一般を射ては敵機は東北方に逃走、切りクー 【平獎經濟樂六日间盟】 六日午前

た威機三種が高度約四千米、我は八時半南方より新樂上空に又現れ

散機再度新樂上空

方に機能を消してしまった。とからたちに見りこともこともの四十分後更に三権現れたが、又前一へ我軍の勇猛な強撃に敵は他と呼

運河で後退の敗兵は武城へ

條綱を張三続らし道駅前、機銃弾 朝を行った。附近部落には成一千 ||地を概要、更にその前面には数 友び朱宝方面に勇猛果敢な突 目掛け一斉攻撃を開始し、撃横 笛した歴井、併佐南郎隊は六日 ・耐臭部隊の推進外戦の下に蘇手坦より救一時間に近り航空部

回興事命を開発し、之を以て帰れす ペイン代表の提案にかえる。は相ネグリン氏司會の下に問合 は五日午後十時三十分スペインが 【ゼネヴァ五日阿盟】聯盟即事

本府辭令(長島)

ブラジルコーヒー

**西教后都古四等** 

エ・エ・ア ツス ム ソ ンブラジル珈琲販賣宣傳本部東京。銀座四丁目・翆昏館

600



す。その上から得したての 分け砂糖を添ヘサージ数たら直ぐにカップに取りた。強辣がポットに違され の上に持ち恋へます。 込みます。 適量の関連を徐々に注ぎ





の方面の裸司合はことにをつて全

。能となり間日戦側に経典しつ

以六日後】戴宗宅、輝橋宅線に

敵四方に後退

平漢戰線從軍手記 [3] 特

同粱畑を血に染めて

最後の抵抗 ふこそ満洲事變の 記念日

入日

金田をなく、本をい、花楽

なり膨止なりを提案しく総先票単して、総(収)の指駆院(城に続く、克の指駆院(城に続く、克の指駆院(城に続く、克の指駆院(城)による。

わ、改良工事を覚施するととよし

神輿の行列

眞心の慰問金

・ 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学・ 「大学・ 」 「大学 皇軍慰問金(勝名の版) 十八川二十三段也

敵前で列車から大砲下

神を縋る女の群れ!!

愛 するか?

かり

が 節 城川 越大 使と語る代の色麗白神を縋る女の群れ!! と生命保険の将來の創化の儲け振り 遮斷と支那の武器 戰爆破 門地報告 葉室鐵夫 中 日 校線 記の / アを振りてら地に堕ちた兄ょ 令妹梅林道子記 ス映制館の儲け振り

勇士を 訪ふ 月號五十錢 話の座電

北平の私娼覧を探る北京の怪奇大道見世物天津の荡見「鎌足公」

▼當謎 • 支那 實話 集◆
会注小學兒童の作文集

来るべき南北兩會戰長谷川了 大川戦争に對する覺悟 漁場を 大川戦争に對する覺悟 漁場を 大川戦争に對する覺悟 漁場を 大川戦争に對する覺悟 漁場を 大川戦争に對する覺悟 漁場を 大川戦争に對する覺悟 漁場を 大川戦争と國民。態度 雨宮 異

町幸內區町取山京県 社秋春藝文

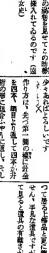
夕刊後の市况

自然の味を生かして食べよ

見分け方と料理法 松茸御飯 松井中春

純毛靴下の良否

よくへ称を吹くなってきるりま



飯島



て、青年期の最も元氣のある年頃

ネクタイ掛け作り方

物の

なければならぬ道具です。これを 操げ物をする時に、『油切』は一颗位の足をつ 揚げ物の油切

の成分が酒に溶け、果ずんだお沼一

黒豆酒の作り方神經衰弱の妙楽

10

低五十個定りあに店甕品鉱化草爆

渡る方法は?



城 銀 茂 後 人義 科<sup>征</sup> 樹行

原(3)二六零 原来製控制 金拾短圆五拾錢 医大胆素 金 九 圆五拾錢 秋岡商會

泉城府明治町一丁目 (桑藍)N



ラチオ像でして それで 国爽快

日焦を完全に防く

一緒、顔面、手足さでも完全に「恐化粧」が出来、自然が地膜に 学品以下三分の一位で元分、而して解く和永保します。

の説明の化粧すべて心が毛がよく仰き、松切手を用へば用いな蛇

自然語や財政などの出来る愛ひなく声鳴目的を味ぎ、杭州家の よくずへて生態ある化性学となります。

Ø 特 紊 許

鉛白が若し有害でなかつたら、現在でも断然大歌迎されて 無い自粉がつまりサーワ固形印粉です。是非一度御試用下さい しい鉛白の附着や伸びをより以上持ち、纏無鉛無害の中分の る事と思ひます。それ程鉛的は良かつたのです。だが其実際 大篇型 五十錢



NII

分子が非常に細かく特に被殺力が大きくずいるなめい温にいの

港込んだやうに主じく旅行で風から色の白い人の肌の 様に な

複数へ行っても変数セナー株に海水浴では日本を助きます。

見 丸 魔河・京東 橋本路石ワッミの

船腹は足らず

現在のストック値かに一千一とになるかも知れない

|1日張麦の第一回水钼吹乗業想高は七萬子六十一名、反常収。作に三拍子機ひの曼作を開歌する撃が捕っ溢れてゐるが去る

石一斗四升六合、これを前年に比べれば三十六分九流

防護團敏捷『活躍し

川も上首尾

鎌草總領は二十二萬三千三百十

要的鍵をなすこととなったがこれ る十五日から左の十ヶ所で共阿坂 【治州】緑の一種を質値に伴ひ

【仁川】九月中における海菜組合

持腐れの在庫品

需要減少に惱む明太魚製品

業者ら對策に腐心

加税威止に伴ぐ附加税规则中一

大阪はひを基するものと見られて

で 四八回本スズキ六、10 一〇、七一〇頭▲アッピ 夏、一、1二九回▲エピ 夏、一、四〇七頭▲アッピ

金く贈謁的敗穣を強恕され。昨年、大郷部を楽つた後だけに作で例年七。八十萬石姿であつたのが一部百萬石突破といふ

民の事びはたとへやうのない程で限村には受害に格作に紹

山一〇六、一五〇石《除城一三一、1六九石《北州一四三九一一石《水间八四、四五八石《徽川八七、七九二石《城清八四、四五七石《武八七、七九二石《城清八四、四五七石《武八七六、高红左の通り

苦力強減交(こ)で常門吸飲者と 名は山東省生れ第卅六共同丸船

**竹ら満州神社の大祭賞日でもあり 吹であつた。主なものは** 東であった。主なものは 来る十五日時局標度業在から経大・五國六十六億で下旬階以與來的整路が変とた忠北道職会解放式は「六百二十五百の六萬九千三百」

昼民財気の的であった道路合計集

質に五朝七分八雄八毛の増散となつてゐる。各部別收鐘鏡均、六毛ឹ壁、平年作よりは五朝二分七別樹散、普通作に比せば

日萬石突破の豊作

忠北第一回水稻收穫豫想

平年の五割强増収

中の支那人三名を巡鴉中の七川 七支那パン原養房出で、阿片吸 仁川】五日午後二時半頃彌生町

阿片密飲の

· 通捕し阿片類擬一倍。 好入樓

【指州】二十一萬数千頭を投じて「咽合きの水構高は陽計十二萬三

恰も清州神社大祭當日の

## (の) (秋)色づく國光

和寂につき緒々職族の結果各船合一年後二時から登見してこれ節の観

の荷物で既に満介となり、移田米 健に迫つたにも抱らず船膜の不 行政の出産物か | 校刊子県で株山部明像の名前個

新穀出廻りを控へ

あけた。七日で終了するが愛加店。について協議したが、民間企業勢は六日から公合堂で関々しく議会、現で所もれる工業者大会は田昌業 |四時から工業俱換部委員會を開催||を企園してゐる平壌中小商工業者 加藤平太郎氏以下十一名田唐、平一国代は松下、ゴム松、洒襲等の中一の権大による地数破保を目ざして

【平墳】北支方面の減大明郎化と「同業組合ではこれ等中小商工業者」未商店の天井から出火、消防和員を企園してゐる平墳中小商工業者」の對支援補的進出を登場ならしめ、出題して近らに頼火せしめた。消防和員を企園してゐる平墳中小商工業者」未商店の天井から出火、消防和員

事務刷新

清州の種痘

北支の地盤確保を目ざして 平壌で猛運動開始

・十二日内地人▲十三、四、五日 ・推鎖を施行することに決定

一般たる大工事を完成すべく全 第一線行政

生業報國の恒久化

慶北で徹底を闘る

既を選じて領域化するのである。かけ今後近ちに質嫌し、鉄後の赤

人工事を弱負つた間、西松の南祖

ルで 閉岸より 先づ百メートル締

民職部件ご封子の名面創造りとう。 選びは二日年後 「皇家教園の伝えたにいなら別郡主任会」 大郎 別し民職の利益を総合すべく 色面是の 医臓であるとし、選では二日年後 「皇家教園の伝えたについて普通(博作品:原出民職の利益を総合するとの正常の 国際であるとし、選では二日年後 「皇家教園の伝えたについて普通(博作品:原出民職の発生と記述するとは、政治の社会には、日本教師の人は日本に対し、日本教師の人は「明治の人には四日は近内。内郡主任を招戦、女が影に入して、明治の人には四日は近内。内郡主任を招戦、女が影に入して、明治の人には四日は近内。内郡主任を招戦、女が影に入り、明治の人には、日本教師の人は、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人には、日本教師の人は、日本教師の人には、日本教師の人は、日本教師の子の本教師の人は、日本教師の人は、日本教師の人は、日本教師の人は、日本教師の人は、日本教師の人は、日本教師の人は、日本教師の人は、日本教師のは、日本教師の人は、日本教師の人は、日本

| 英雄を三唱年後一時半晩谷上だ | 品評・會後代式 【永月】| は食品に続質機を置りその後後活

一般有志、事生等于餘名差列の下 【廣州】神河秋季大祭は去る廣州 日午前十一時から各官公野日、

兎に角工器指導機関の設置要望の 件を提出することに決定し、同五

に終行したが時間に乗か、いはゆ 十二日から開始し共野郷間中の出した数行したが時間に乗か、いはゆ 十二日から開始し共野郷間中の出したがに 廣州の秋祭 寒くなるにつけて

づくや我が頻繁部隊は一部に火盛の塊と化した、急々厳権の顕音近に入り各交通機関も停止して暗黒

数一千五百十九四) 第一種所得稅|

慶北水産何處へ!

鰊の販門權返還要求に悲鳴

イレン鳴るや野間全市は空間を 理・午後八時四十分監機來襲のサ

が細田豊能を壁間田号し楽彫する。少と時間関係による輸送不同俗に一されてゐる 具植類部帯として音像腹壁管理長」なが最近南韓方面に対ける研究地 あるが、今回また左の二部落を後一様に迫りその豊間は消費されてあ

により本年は精育の多品在市品を

清州の校長會議

内水風都合葉面理川里興村(銀」の今が更に金融圏外の地域の作った材果、道で開催すると「「「横震」(全日東海等)両浜田里(即に寄り、義者は朝廷に帰るして「小赤母校長を招集・打会(古外)、「本村」では「大村 一 本代 大名 は 一 一 一 大村 一 本代日英雄歌雄所成 内安雄歌歌 とし、 だいて 打場を積えに図ると

ら同十時まで三時間に亙り官民

定の場所に 監視員を 配置するとに活動し各分職また一致機能で所

本部では助員された各係員級権 港の町も残価所以外の限外間を全

清州邑會

共に養成並に各受や高城交通器

開たる仁川府では五日午後七時|部消し本格的警戒脊髄に入った。

||推近づく野社サイレン鳴り響くや|| 床並に推問品群育芸賞投與式を去配位して結婚、かくて午後七時酸|| 報恩標草耕作組合では十二年度苗

あ九月三十日午後二時から回組合 床並に堆肥品牌合設質授與式を主

多くの模権的格を組成投影しつつ突破部が施設として本年度は特に

【元出】水産元山の無寒駅の重要。たく、本年度流襲が動陶いづれた| 広偏霧県示台の鎖行を乗

を1、今後の将爆処何は肌る逆目 でることに状況した と1、今後の将爆処何は肌を2012 であることに状況した

京城運信分学局では保険金二億四

各町々の防護振り

配なのは石炭 仁川の需要四萬噸に對し

ストツク僅か千噸 次漢 衛生の合肥は延済励を開始 糸雕れぬ結解がりであった

十五ケ面で棚の共同販賣を開始す 八日から開始

展し林知事時代極北水壺存設立部。性は図めてゐる あるから近く解決の機械である。一言であるとの論様から要求したも を職として補節的交渉に入る営で「消と共に常然巡日組合に復闘すべしたら如何といふにあり兩者も右「日に至つたもので、水泥寺社の帰 の販賣機は以前から迎日租合に一ので述としても租合側のこの合理

**蠶業講習生卒業式** 

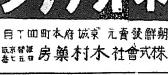
病牀の食餌に

所手した。同所は阿紹六百メート 高端の機能なり、一日から工事に 九十四件中、歌声には国軍中 大型甲所在の九龍道大選巡上事は たり、一日から工事に 九十四件中、歌声には国軍中 大世の件中、歌声には国軍中 大世の件中、歌声には国軍中 大世の件中、歌声には国軍中 大世の件中、歌声には国軍中 萬端の準備をはり 日から工事着手

一 (医亚) 即和正外二名 一 (医学生 (男子巫) 都大游、申续 市、申集語 (男子巫) 李和晚外五名 一 (女子巫) 即和正外二名 **禦生廿五名、女子加卒槊生十五名** 月卅日午後一時から同所で官民多 ナ部部門生第廿二回。女子部記書 三郎九回本菜派将提具式をまる九

シオマとなり

獎



ネオデリン









「前州」明倫督では來る十五日

清州 支廟釋奠

から一ヶ月の鎌足で臨時適省も







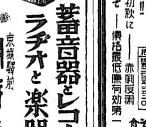


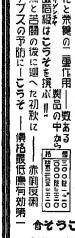












御に店等員合意味城京は合場を触り入に手組てに方地 担荷料送Vさ下文は



電影社削こうそ 

地方日出版 中國社会配入海原會數子定數 中國社会配入海原會數子定數 中國社会配入海原會數子定數

**ザ 双級**脚

カタロが設備(原三額)

九州郵船出强所

一科病院處方眼鏡費任調製

安塚水栗町一丁自成帯地電影本局の田珍朋丘八八四番

職 木 行公行為日 朝鲜汽船田帆廣告

設特二



上海の在郷軍人と義勇隊員

に際し在掲車人も第一級に立一雲仙閣の窓覧では、甕父君は陸駿一

### 必要だと思ふが まだ具體的には

ユース館が建る

てに海上 員派特藤後

を響った彼れは自宅

見本を持つて出

|叩き込み就後商工陣の駅温を奥へ | ることになるであらり、日幕左の

四人みな未遂

きの

\* 衛玉清元園 頭角に

綿

澤商店 田四三

加加

2000年17月1日 | 1000年17月1日 | 1000年

谷

御通知申上候病氣の處薬石効なく本日午前前代表社員水谷岩松殿儀豫而

友親水野野 / 機



ル 温 ク材

同同-

主軍の苦闘辛酸

滕井特派員、血涙の報告に

満場の聴衆しんみり

位候間御諒承相成度此段御願申上候 会協議ノ結果十月一日ヨリニ割以上値上ゲ斷行、値段ニテハ到底堪へ難ク遺憾ナガラ不止得同、値段ニテハ到底堪へ難ク遺憾ナガラ不止得同なとと出來得ル限リ苦痛ヲ忍ビ居候處從以來諸物價昇騰ニ件ヒ吾が硝子原料及燃料モ

諡

<sup>需用者各位樣</sup> 京畿硝子製造業組合

年中無休

記の製造

アヘン密輸の 親玉に手配 東大門署通牒

辭表を提出

淤 豆口拿内

軍大統領法人以の他の

明命称は、『外教名と聯稿・約九一信州戸北温泉などに入湯加賀

笠産婦人科 55912

カメラ地に材料小型カメ

京城府旭町一丁目 川 1

朝鮮神宮競技

學校家庭必備の名畫帖!れぞ國の質、家の質、

局に鑑み大歌發、特價四十五段 山陸相御推獎!

不二與菜株式會社

情報 人 度 告

で映画店にあり。 東切れ以中にお求め下さい。

別余人

撤送に不便を與へてゐたが近し

銃後の再教育 二萬五千名の從業員を集めて

講演と映畵のゆふべ

く一流響伯の大傑作、被巧儒彩色の大帝語!即も哭く是軍將兵の大智歌を重立十段場回。

忠勇美談社の繪本

に咽ぶ壯烈奮戦の大緒巻!供も大人も軍國民悉く大忠澂!

常良眺望好閑靜電平寫五八八〇世

頁家 新型系统型

浴晶!

